



### 文命中学校の屋上にある半球体って何？

企画政策課 ☎84-0312

文命中学校の屋上に緑色の半球体に乗っているけれど、あれって一体何だろう？

ということで、今回の「調べてまちの調査隊」では、文命中学校の半球体の謎に迫りました！



説明する石塚先生

**半球体の正体**  
卒業生、在校生の皆さんにはお馴染みかも知れませんが、あの緑色の半球体は、プラネタリウムなのです！  
40年前に現在の校舎が新設された時、県内でも数校しかない中学校のプラネタリウムが完成しました。  
さて、時の流れとともに今はどうなっているのでしょうか？ 今回、文命中学校卒業生でもある教頭の石塚先生に案内してもらいました。

**いざ！プラネタリウムへ**  
屋上に向かう階段を上がり、町を見渡せる素晴らしい眺望のなか、緑色の半球の建物が現れました。扉を開き、丸い部屋に入ります。



▲星空を映し出すプラネタリウム投影機  
◀壁には富士山のシルエット

**実感を持った授業に**  
現在のプラネタリウムは自動で、指一本で動かせるものが主流ですが、40年前のプラネタリウムは、まるでコンピュータのよう。石塚先生は忙しくスイッチと格闘されていました。



椅子は本格的なリクライニング式

**取材を終えて**  
正直、私が中学生だった時は星座にも天文にも興味はわかず、ただただ理科の授業の一つだったように思います。しかしながら、大人になってプラネタリウムにお金を払って見に行ったり、星空の観測会に参加したり(笑)  
自分の中学生時代にプラネタリウムと出会えていたら、また違った人生もあったのかも知れませんが、  
情報特派員 小田 猛

まず目に飛び込んできたのは、中央に鎮座した星空を映し出すプラネタリウム投影機です。石塚先生に聞くと、この製品で「五藤光学研究所」の製品でした。以前、東京の渋谷駅前に「五藤プラネタリウム」がありました。文命中学校にあるプラネタリウムも同じ会社の製品だったので、すね。もちろん、世界的にも一流の製品だそうです。

このコーナーでは、町内の気になるあの場所・あの人をまちづくり情報特派員が取材します。気になる情報をお寄せください！



遠藤 仁一校長先生

## 校長先生にインタビュー

今年4月に文命中学校に着任した遠藤仁一校長先生にお話を聞きました。

**文命中学校の印象は？**  
文命中学校は生徒数が500名を超える、足柄上郡の中でも規模の大きい学校ですが、とても落ち着いた学校です。そして、生徒も先生も様々な活動に一生懸命に取り組んでいます。  
全校生徒が一堂に会した入学式は、厳粛の中にも活気のある素晴らしい式でした。新入生の返事のお返しが在校生の立派な態度が印象的でした。

**Q 校長先生が中学生だった時の体育祭の思い出は？**  
当時フォークダンスがあり、女子と手をつないでダンスを踊るのですが、手をつなぐことが恥ずかしくて、とても緊張した思い出があります。

**どんな学校にしたいですか？**  
一言でいうと「明るく元気な学校」です。あいさつは学校を明るくします。元気なあいさつのあふれる学校にしていきたいです。また、中学校での生活は楽しいことばかりではありません。悲しいこと、苦しいこと、悔しいこともあると思います。そのような時に、仲間や先生、みんなと一緒に支え合い、力を合わせて乗り越えられるんだという安心感がある学校を目指していきたいです。

### 学校自慢

僕たち！私たちの！

行事やイベントに積極的に参加してくれる！NYG(日本一優しい学校)プロジェクトなど、全校生徒が積極的に参加してくれます。

あいさつが出来る！先輩、後輩関係なく、校内であいさつが交わられています。

一人ひとりが自立している！みんな、自分の責任で行動していますが、困った時には助け合っています。

ボランティア精神を持った生徒が多い！清掃活動「心洗組」では、毎回多くの生徒が参加しています。

みんな、仲が良い！クラス、学年関係なく、仲が良いです。体育祭や文化祭も全校で盛り上がります。

原田 あやかさん (2年生)

佐藤 まどか 円香さん (3年生)

小野崎 れな 怜奈さん (3年生)

小宮山 こうた 皓太さん (2年生)

外池 あかり 明梨さん (3年生)